



幸せの軸を模索する

◇今回は、高井春菜さん（駒澤大経営学部・マーケティング企業勤務）のレポートです！

はじめまして。2012年度卒業生の高井春奈です。

関高校を卒業後、駒澤大学に進学し、現在は主にメーカーのデジタル領域でのマーケティング支援を行うスタートアップで働いています。（スタートアップとは比較的新しいビジネスで急成長し、市場開拓フェーズにある企業や事業のことです。）

私はとにかく勉強が苦手で、高校時代は赤点ばかり。補講の常連でした。（数学で0点をとったこともあります。笑）大学で何かを極めた訳でもなく、何か語れるようなこともしていないので、私なりに関高校に入ってよかったと感じていることと、早くやっておけばよかったと感じたことの2つについて書きたいと思います。

関高校に入ってよかったことは、こうなりたいたいという夢ときっかけができたこと

冒頭でも書きましたが、私はとにかく勉強が苦手で、「頑張って勉強なんてしなくても、高卒で働けばいい」と思っていた時期がありました。

しかし、先生方や周りの友人に感化され、受験勉強を始め、大学に入学することを決めました。大学入学後は様々な人と出会う機会が多く、スタートアップに興味を持ち始め、現在の会社を選択しました。

とても流れがはやい世界であるために毎日とても刺激的です。

あの時大学に進学するという選択をしたこと、そしてその選択肢を与えてくれた関高校及び友人には本当に感謝をしています。

社会人になった今でも同級生と食事をしますが、皆さん様々な職業選択をして頑張っており、「私ももっと頑張らないと」と思うことができます。

周りに恵まれることも関高校に入ってよかったことだと感じます。

早くやっておけばよかったことは、自分にとっての幸せの軸を考えておくこと

私が勤める会社では、インフルエンサーと言われる、SNS上で影響力のある人を扱っています。こういったインフルエンサーの方々などを間近で見ていると、職業の幅や稼ぎ方、価値観が多様化しているように感じます。

昔の「〇〇になったらすごい、〇〇を持っていたらすごい」というような、模範解答がなくなり、結婚しなくてもよいなどといった価値観も受け入れられるようになってきました。

そこで何が重要なのかというと、自分自身の幸福度だと思っています。

私は、自分がどのようなことをすれば幸せなのか、どのような条件であれば幸せなのかをもっと早いうちから考えておけばよかったと思っています。

皆さんももしよろしければ、自分の幸せの軸を考えて、今後の選択に活かしてみてください。
自分自身で考えて出した結論が正解だと思います。

最後に

ドローンやAI技術など、社会に出たばかりの私を感じるほど、ものすごいスピードで社会は変化しています。

きっと皆さんが社会に出るころには、さらに新しい働き方や、サービスが生まれていると思います。
自分のなりたい姿や幸福度を追求して、素敵な人生を送ってください。

